

## ■事業委員会報告

### 出張講演・稲城第五中学校

事業委員会では、IPの仕事を広く社会に理解していただくことを目的として、企業・市民レクチャー・教育機関などの現場に伺って講演を行う、出張講演事業活動を行っています。

昨秋9月30日、中学生を対象としたはじめての講演を、東京都稲城市立稲城第五中学校で行いました。この中学校では、社会学習の一環として《達人集合、この人に学ぶ》というプログラムを組んでいます。いろいろな職業の方の話聞き、自分の将来を考えようというものです。

講演は、2年生全員を対象に、9時40分から12時30分の間で2回に分けて行われました。講師はJIPAT正会員の石津幸子氏、寺本昌志氏にお願いし、事業委員として(寺本)、富田、内田が講演をサポートしました。

進行は中学校のマニュアルにそって、『人物』『中学時代』『仕事のきっかけ』『喜び・信念・夢』等をテーマに対話形式で進められました。IPの仕事の内容については、中学生にも理解できるように、それぞれ講師の方に実例を挙げた資料を



ご用意いただき、最後まで興味を持って聞いてもらえるようにユーモアを織り交ぜながらのお話を行っていただきました。

講演終了後、瀬戸校長先生からは、「生徒が将来を考えるきっかけにしてもらう企画として今回はたいへん興味の持てる講演だったと思います」と、企画担当の後田教諭からは、「インテリアプランナーという仕事は、想像以上に専門的で難しかったが、夢のある楽しい仕事だと理解できました。3年生にも是非聞かせたかった。またお願いしたいと思います」との感想をいただきました。

講師の方のコメントは、「インテリアデザインなんて“ちんぷんかんぷん”なんですから興味を持って聞いてもらうためにはいつもと違うアイデアが入りました(寺本)、「生徒には職業の一端は理解してもらえたと思います。“3年生にも聞かせたい話だ”と先生方からお話があったので、IPの職業について少なくとも先生方には認知していただけたと思います(石津)とのことでした。

中学生を相手にIPの仕事の説明する講演は、なかなか難しい作業であることを感じさせられましたが、以上のような内容で無事に終了いたしました。



## ■会員からのメッセージ

### 《自然を守るのは》

昨年11月27日、渋谷の「パタゴニア」で自然保護活動家のセヴァン・スズキ氏の集会があった。「セヴァンをパタゴニアに呼ぶ理由～自然の事を知りもしないで、どうやって自然を守れますか?～」という主題でのトーク。

閉店後の会場造り、寒いなか熱心な人たちが前の遊歩道に集まった。嬉しかったことは若者がほとんどで、たばこを吸っている人がいなかったこと。

彼女の生い立ちから始まり、12歳でブラジル・環境サミットにて声明を発表したこと、その発想の原点、そして、現在の活動と世界の環境状況などをスライドを交えて語った。

彼女は9歳の時、家の前の川で釣り上げた魚がひどい病気に冒されていたことに対し、どうして、という疑問を抱いたことから活動を始めたと言う。環境サミットから10年、22歳のエヴァンは、今の大人の創り上げている社会のままで、

この地球を受け取っていいのか、自分たち受け取る若者が今から活動を始めないと、あっという間に地球は再生不可能な荒野と汚い海になってしまう、と穏やかな語り口ながらもしっかりと訴えていた。

彼女の血の半分が日本人であることが、自分の考えを生むDNAを運んできてくれていること、父が小さいときから自然の中に連れ出して、釣りが趣味になるような環境に置いてくれたことなどを感謝していた。もっと自然に出よう!そして自然を知り、守る手だてを考える糧にしよう、とも。

私も機会があれば、キャンプや釣り、カヤックなど、自然の中に身を置き、ちょっと不便で楽しい時間を過ごす。結果、子供の頃に霞ヶ浦の近くで遊んでいた頃と今の自然や、農業などの違いが見えてくる。そのことを知っても、何も活動しないことにはかなり罪悪感を覚えてしまった。本当に、今のままの地球を子供たちに渡すことでもいいのか、責任はないのか、と考えることしきりの日だった。

下田濟二郎 (e&i-PLAN)

## ■EVENT REPORT

### 第9回JIPAT親睦ゴルフコンペ

昨年12月7日土曜日、第9回JIPAT親睦ゴルフコンペが、男子プロトーナメントも行われる、一年中緑のフェアウェーと高速グリーンで有名な千葉県市原市の太平洋クラブ市原コースにて開催されました。

有志により2、3組からスタートした別名「お暇な人杯」もここ数回で参加メンバーが増え、いつの間にかその名も「JIPAT親睦ゴルフコンペ」と改め、今回は11組40名の参加と立派な大会となりました。

この冬一番の冷え込みに加えての雨…。スタート前の練習もほとんどなしにルール説明後、寒さを吹き飛ばすかのように(寒さに震えながら?)各組乗用カートに乗ってアウトコース、インコースへ。体も温まっていないせいか、スタートホールではOBが続出、パーティー代となるペナルティーに一役買いました。

雨は幸いにして前半の途中から小降りとなり傘を差さなくてもよいほどに。そして何とか日没前に全員がホールアウトをすることができたのは何よりでした。

出入りの激しいゴルフで、優勝の行方はスコア集計まで予想のつかない状況に。ノンアルコールビールを飲みながら、一時の懇談ののち成績発表へ。その結果、以下の方々が入賞されました。

	グロス	ネット
優勝	霜野 隆さん	103 68.2
準優勝	綱本 清さん	93 72.6
3位	猪坂幸二さん	93 72.6
ベストグロ	東 淳一さん	84

### ◇優勝者 霜野 隆さんのコメント

早朝からの小雨と今年一番の寒さの中でのゴルフは過酷で大変で、プレイの内容よりも後のお風呂が最高の1日でした。しかし、新ペリア方式のおかげで35ものハンデがついてしまっていた優勝は『うれしはずかし』でなんとも形容のしようがありません。市原から自宅の都留まで約3時間の帰路、いろいろ悩みつつ、いただいた賞金は全て家内と娘2人に進呈、ちょっぴり待遇のいい日曜日を過ごすことができました。ありがとうございました。

その他ニヤピン、ドラゴン、飛び賞、ブービー、ブービーメーカーなど多数の賞の発表ののち、朝よりも激しい雨のなか、みなさん帰路につかれました。

次回は、8月のお盆の時期に第10回記念大会を開催いたします。皆様の参加をお待ちしております。

## ■連載 色彩とインテリア ②

ディックカラー&デザイン(株) 森田 良子

「色彩とインテリア」2回目の今回からは、インテリアカラートレンドをふまえて生活者が求める色づかいを、バスルーム・トイレ・キッチンなどインテリア空間別にお伝えしていきたいと思えます。

まずは新しい1年の始まり、ココロと体をきれいにする「バスルーム」のカラーコーディネートについて。

個人のライフスタイルが多様化している現代では、生活者はインテリアのスタイルに自分をあてはめるのではなく、自分が“どんな住まい方をしたいのか”という個々のライフスタイルに応じた空間づくりを求めています。

バスルームの場合は、“どんなバスタイムを過ごしたいか”をもとにコンセプトをたてます。ストレスの多い現代社会では、バスルームは体を洗うだけの場所ではなく、ココロもきれいにして“自分をリセットする場所”にもなっています。

特に女性は滞在時間も長く、自分の部屋と同じように“場所”としてとらえています。例えば朝型の人にとっては目覚めの場所であったり、夜型の人にとっては疲れた体をリラックスさせたり、時には日々の生活の中で自分自身を見つめ直し、気持ちをリフレッシュさせてくれる場所でもあります。

こうしてみると、空間づくりはコトづ

くり。空間がその人をどれだけ満足させてくれるかがポイントになります。

今回は「バスルームでの過ごし方」を軸に大きく3つのカテゴリーに分けたカラーコーディネートをご提案します。

### Awake -目覚め-

ゆっくりとした目覚めを誘うナチュラルな色合い

イメージするのは朝靄の中に差し込む光・やさしい木の風合い・芽吹いた緑の葉・コットンの柔らかな肌触り

### <エクリュ>

自然な状態のままの生地の色。未加工の状態をあらわすクリュ(cru)の派生語

### <アプリコットベージュ>

杏のようなやや赤みを帯びたベージュ

### <ヴェール・ポム>

青りんごのような明るい黄緑色

### <パフ・ブラウン>

柔らかな皮革の黄みの茶色。仔牛や山羊などの皮をなめした色をいう

### Relax -くつろぎ-

疲れた体をリラックスさせるシックな色合い

イメージするのは深い森林の静けさ、眠りを誘うキャンドルの暖かな炎。ひんやりとした重厚な石の質感

### <エバーグリーン>

常緑樹にみられる濃い緑

### <アンバー>

琥珀のようなまろやかな黄みの茶色

### <ローズウッド>

バラの香がするローズウッドのような深みのあるブラウン

### <スレートグレー>

石板のような冷たいグレー

### Refresh -清新-

気持ちをリフレッシュさせるクリアな色合い

イメージするのは透き通った水、澄みきった青空。つややかなガラス、石膏のようなマットな感触

### <マットホワイト>

艶のないマットな質感の白

### <アクアグリーン>

みずみずしく透明感のあるグリーン

### <ブルー・パール>

パールのように白く輝いたブルー

### <シャトアイヤン>

“猫の目の光”からきた言葉で玉虫色の輝きをもつ色

このようにイメージに合わせた色彩を使うとバスルームをライフスタイルに合わせてコーディネートしていくことができます。

カラートレンドは、時代とその時代を生きる人々の気分を表しています。経済不安・IT技術の進歩など変化の激しい時代の中では、色彩も全体的におだやかさやゆったりとしたものを求める傾向にあるようです。

※各カテゴリーの色彩については、ホームページをご覧ください。

## ■TOPICS

### ミニセミナーのご案内

JIPAT会員も参加するISK(インテリアから住まいを考える会)では、下記の通り公開セミナーを開催いたします。お気軽にご参加ください。

- 日 時 1月21日火曜日  
18:30~20:00
- 会 場 東京ウィメンズプラザ  
第一会議室B  
〒150-0001  
東京都渋谷区神宮前  
5-53-67  
TEL. 03-5467-1711
- テーマ 「ノルマンディーの日本展  
—茶の間ヌーヴォー—  
2002年秋、フランス・カン市で開催された国際博内の日本展への出展報告をはじめ、ノルマンディーの街や人、パリの情報など、スライド中心のセミナーです。
- 講 師 山本棟子  
(山本棟子デザイン研究室)
- 会 費 500円
- 申込先 ISK事務局  
(FAX.03-3488-4403)  
JIPAT会員とご記入ください。

## ■新商品紹介

### リリカラ(株)

### 《ウィリアム・モリス》

前回(5年ほど前)ブームになったのは、死後100年の回顧展が行われたことがきっかけでしたが、今回はモリスのデザイン自体に対する評価を背景にブームとなりつつあります。自然を愛しモチーフとした彼のデザインは100年以上を経過した現在でも、あせることなく新鮮な感動を与えてくれます。母国のイギリス、アメリカのみならず、アジアの各地でも展示会が催されています。

リリカラでは、2月に発行の壁紙総合見本帳「ウォール・デコ」にウィリアム・モリス、デザインの壁紙、52点(不燃・国内ライセンス商品と輸入品)を収録、発表いたします。内訳としては通常の壁紙の他、ボード一柄4点、一枚物(ヨコ900×タテ2,300mm)のインクジェットプリント(受注生産品)3点を含みます。問合せ先:営業開発部

03-3366-7865

## ■編集後記

新春早々に今期3号目のニューズレターを発行することができました。原稿をお寄せくださった方々に心から感謝いたしております。なお、引き続き情報委員会では、「ニューズレター」及び「インフォメーション」の原稿を随時募集しておりますので、news@jipat.gr.jpまで是非お寄せください。(羽沢)

## ■新入会員紹介

初めまして、芝桃子です。風大地プロダクツというプロダクトデザイン事務所を主宰しています。

私たちの掲げるテーマは、一つは「エコ」。

エコ住宅設計のオーガニックテーブル・善養寺幸子と雨水ろ過貯水器を自主企画しています。こちらはエクステリアプランナー協会にも入りたいのですが…。

もう一つは「エイジレスデザイン」。

理論上の研究には7年ほど前から取り組んでいますが、もっと真相に迫ったデザイン活動を行いたく、どうすべきか、福祉住環境整備も含めてアプローチしようと思っています。

フリーランス故の弱点を補うため、情報交流、異業種交流の場を求めて、JIPATの準会員に加わらせていただきました。どうぞよろしくお願い申し上げます。



## 『色彩とインテリア』 “バスルームでの過ごし方” カテゴリー別カラー

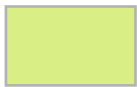
Awake ー目覚めー ゆっくりとした目覚めを誘うナチュラルな色合い  
イメージするのは朝靄の中に差し込む光・やさしい木の風合い・芽吹いた緑の葉・コットンの柔らかな肌触り。



〈エクリュ〉 自然な状態のままの生地の色。未加工の状態をあらわすクリュ (cru) の派生語。



〈アプリコットベージュ〉 杏のようなやや赤みを帯びたベージュ。



〈ヴェール・ポム〉 青りんごのような明るい黄緑色。



〈バフ・ブラウン〉 柔らかな皮革の黄みの茶色。仔牛や山羊などの皮をなめした色をいう。

Relax ーくつろぎー 疲れた体をリラックスさせるシックな色合い  
イメージするのは深い森林の静けさ、眠りを誘うキャンドルの暖かな炎。ひんやりとして重厚な石の質感。



〈エバーグリーン〉 常緑樹にみられる濃い緑。



〈アンバー〉 琥珀のようなまろやかな黄みの茶色。



〈ローズウッド〉 バラの香がするローズウッドのような深みのあるブラウン。

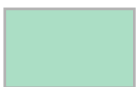


〈スレートグレー〉 石板のような冷たいグレー。

Refresh ー清新ー 気持ちをリフレッシュさせるクリアな色合い  
イメージするのは透き通った水、澄みきった青空。つややかなガラス、石膏のようなマットな感触。



〈マットホワイト〉 艶のないマットな質感の白。



〈アクアグリーン〉 みずみずしく透明感のあるグリーン。



〈ブルー・パール〉 パールのように白く輝いたブルー。



〈シャトアイヤン〉 “猫の目の光” からきた言葉で玉虫色の輝きをもつ色。